



西有家中No2

令和5年 5月12日
南島原市立西有家中学校
校長 本多 洋二

保護者の方へお願い

27日のPTA総会、部活動振興会総会にご参加いただきありがとうございました。

PTA総会では次のような話をしましたのでご紹介いたします。以下はその要旨です。

今年度、西有家中学校は、保護者の皆さんにとって、「応援しがいのある学校づくり」をしていきたいと考えています。応援というと、サッカーでよく「サポーター」という言葉が使われますが、私は、学校にとって保護者の皆さんは、一番のサポーターだと思っています。「サポーター」と一体となったチームが強いように、保護者の皆さんと共に協力しながら西有家中学校を作っていきたいと思いますので、お力添えのほど、よろしくお願いします。（中略）

昨年から見えて、西中生の良さは、「素直さ、優しさ、礼儀正しさ」であります。西中には、いい子がたくさんいます。荷物を持っていたら、サッときて、持ちましょうか？と言って持ってくれたり、作業をしていたら手伝いましょうか？と言って手伝ってくれたりします。子どもたちが素晴らしいのは、裏を返せば、ここにいらっしゃる保護者の方々が素晴らしいからだと思います。決して、お世辞ではありません。（中略）

以前、講演会があって、その講演の中で、子どもは大人をよく見ているという話がありました。あるお母さんが言われるそうです。5歳になる娘が、冷蔵庫の一番下の野菜室の引出しを、手で開けて、足で閉めるんです。その姿を見たとき、愕然としました。私がしているのを見ているんですね～って。

よく「子どもは、親の言うとおりににはしないが、するとおりにする」と言われます。

（右上へ）

子どもにしてほしいことは、してみせること。これが一番効果が大いそうです。大人が、いい手本になる必要があるんだな～とつくづく感じました。

今日のように忙しい中、PTA活動をされている姿は、子どもにとっては、お父さん、お母さん、頑張っているんだなあと後ろ姿で示す無言の教育になっていると思っています。今後ともご協力、よろしくお願いします。

1つお願いしたいことは、「西中が特に力を入れていることへの協力です」昨年度から西有家中学校では、「あいさつ・返事・後始末」の実践を徹底しようと取り組んでいます。気持ち良い挨拶。心を込めた大きな返事、後始末の習慣化に、特に力を入れています。ご家庭ではいかがでしょうか。「あいさつ・返事・後始末」はきちんとできているでしょうか。気持ち良いあいさつ、心を込めた大きな返事、後始末の習慣化を、子どもたちに意識させたいと考えていますので、ご家庭でもご協力をお願いします。



朝から、校舎の周りのごみを拾う生徒たち。



教育実習生の内田朱夏です。母校である西有家中学校で教育実習が行えることを嬉しく思います。3週間と短い期間ですが、よろしくお願いします。

教育実習生が奮闘中です。（5/8～5/26まで）

生徒会スローガン

「一致団結 ～向上・友情・成長～」

「一致団結」には、たくさんの人の心が一つにまとまり協力し合うという意味があり、「～向上・友情・成長～」には、様々な場所での向上、お互いを尊重する友情、人間としての成長をして欲しいという思いを込めました。(生徒総会資料から抜粋)



(生徒会副会長 金子直透さん書)

＜コロナウィルス感染法上2類から5類へ＞
次のように学校では対応します。

○マスクの着用は、強制せず、感染状況や体調、アレルギー等により、本人の判断に任せます。(熱中症に留意させる。)

5月の主な行事

- 14日(日) PTA除草作業
- 17日(水) 体育大会予行練習
- 18日(木) 歯科検診(2-1.1年)
- 19日(金) 会場設営
- 21日(日) 体育大会(雨天順延)
- 22日(月) 振替休日(21日実施できた場合)
- 24日(水) 教育相談(2・3年)～6/1避難訓練
- 26日(金) 歯科検診(3年.2-2)
- 30日(火) 生徒総会

○検温は登校前に行い、発熱や体調不良の場合は登校を控えてください。(風邪欠席と同様の扱い)

○コロナウィルス感染による出席停止等の措置は、インフルエンザと同様に対応します。

○学校での感染防止対策はこれまで同様に取り組みます。(手洗い、うがい等)

ブレイクコーナー

自分の考えや人の受け売りです。気軽にお読みください。

「一粒の米」

江戸時代の学者新井白石にまつわる話です。白石は子どもの時は、勉強嫌いで、朝から晩まで友達と遊びまわっていたそうです。それを見たお父さんが、白石を戒めた言葉です。

「米びつ(お米をいれる木箱)から、一粒の米をとっても、お米が減ったかどうかはわからない。けれども1年、2年、そして3年と毎日一粒ずつ取っていくと、減ったことが分かる。反対に米びつに一粒の米を加えても増えたかどうかはわからない。けれども、1年、2年と毎日一粒ずつ加えていくと、増えたことがわかる。勉強や習い事、部活動も同じだ。1日だけ勉強したり練習したりしても、すぐにかしこくなったり、上手になったりすることはない。反対に1日怠けたからといって、翌日に、すぐにわからなくなったり、下手になったりするわけではない。けれども毎日、毎日、ほんの少しずつでも努力を続けると、1年後や2年後にはわかるようになり、上手になったこともわかる。毎日少しでも怠けていると、気が付いたときには勉強もわからなくなり、下手になってしまっているものだ。」

家庭での「宿題」をはじめ、「自主学習」など、毎日のコツコツ努力する学習の習慣化や家庭学習の大切さについて改めて考えさせられます。